

LDN-L30

ラウドネス計測 ロガーアプリケーション

仕様書

株式会社 コスミックエンジニアリング
〒191-0065 東京都日野市旭が丘 3-2-11
URL: <http://www.cosmic-eng.co.jp/>
E-Mail: c1000@cosmic-eng.co.jp

概要

LDN-L30アプリケーションは、LDN-M30シリーズで計測したラウドネス値およびトゥルーピーク値のログをPCに画面表示・保存します。
LDN-L30アプリケーションとLDN-M30シリーズは、ネットワークで接続します。

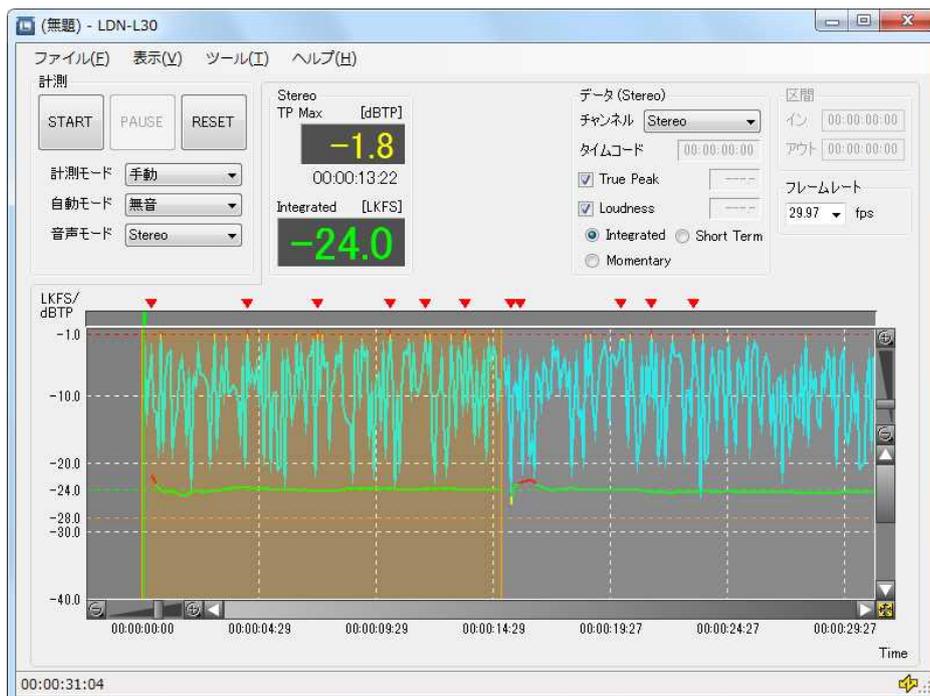
特長

- ラウドネスおよびトゥルーピークの計測データを受信し、リアルタイムでグラフ表示します。
- グラフ上で範囲指定することにより、平均ラウドネス値を再計算できます。
- タイムコードによりラウドネス計測のスタートとストップをコントロールできます。
- 計測データをプロジェクトファイルまたはCSVファイルに保存できます。
- グラフ上で指定した範囲を上書き計測することができます。
- 計測結果のレポートを簡単に作成・印刷することができます。

機能

計測	手動	「START」ボタン押下から「STOP」ボタン押下まで計測
	自動	1kHz または無音を検知すると自動で計測状態と計測待ち状態を交互に繰り返し計測
	タイムコード	「タイムコード設定」ダイアログで設定した区間を計測
	上書き	計測済みのデータに、同じタイムコードのデータを上書き
グラフ表示	表示する音声チャンネルを設定	
	トゥルーピークをグラフに表示するかどうかを設定	
	ラウドネス値をグラフに表示するかどうかを設定	
	平均ラウドネス値/ショートターム/モーメンタリーから表示するラウドネス値を選択	
再計算	トゥルーピークの最大値、平均ラウドネス値を再計算	
	グラフ上で範囲指定、指定範囲の変更	
フレームレート	30、29.97、25、24から選択	
データ表示	サマリー	セクションのトゥルーピークの最大値、ラウドネス値を表示
	イベントログ	タイムコードとアラート内容を一覧表示
	レポート	セクションに関するレポートを表示
ファイル保存と読み込み	プロジェクト	計測した全データをファイルに保存、読み出し
	エクスポート	計測した全データをCSVファイルにエクスポート
印刷	印刷プレビュー	グラフの印刷画面をプレビュー
	印刷	グラフあるいはレポートを印刷
設定	タイムコード設定	タイムコードモードで計測する区間(イン、アウト)を最大64カ所設定 インのタイミングでリセットするかどうかを設定 設定区間をCSVファイルで保存、読み込み
	通信設定	通信するLDN-M30のIPアドレス、ポート番号の設定

表示画面



動作環境

LDN-L30ソフトウェアは以下の環境で動作します。

OS	: WindowsXP / Windows7
CPU	: Intel Core2Duo 2.4GHz以上
	: Intel Core i7 3.4GHz (推奨)
メモリ	: 1GB以上(最小)、2GB以上(推奨)

- ※ 推奨環境の条件を満たしている場合でも、別のアプリケーションが動作してCPUに負荷がかかっていたり、メモリを大量に消費しているとロギングに失敗することがあります。特に電源管理、Windows Update の自動更新およびデフラグのスケジュールはオフにして使用することをお勧めします。また、長時間計測したデータを扱う場合、ファイルの読み込みや再計算処理に時間がかかるため、より高速なCPU の利用を推奨します。